

(別紙)

成果の説明書

(氏名)石井清輝	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>①台湾において進めてきた調査研究の成果を、『関東都市学会年報』第16号(2015年3月)に、「歴史的環境の保存活動を媒介とした『地域の公共性』の生成過程—台湾における日本式木造家屋群を対象として」と題した論文として発表した。なお本論文は、筆者が代表者である JSPS 科研費(若手研究 B)の成果報告でもある。</p> <p>②東京都台東区の谷中地区、文京区の根津、千駄木地区において、所属ゼミ学生と観光客の動向やまちづくりに関する調査実習を実施した。</p> <p>③群馬県桐生市の重要伝統的建造物群保存地区を中心に、所属ゼミ学生と商店主、NPO 関係者、行市職員などに対するインタビュー調査を実施し、あわせて地区商店街と共同で地域振興プロジェクトを開始した(関連新聞記事:上毛新聞:2015年1月12日)。</p> <p>④上記②、③の学生による調査活動も踏まえて、ゼミナール所属学生の報告書の原稿作成の指導を進めた。</p>	
<p>2 その他の事項</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>台湾における日本統治時代の建築物の保存再生活動、群馬県桐生市の重伝建保存地区を中心とした保存再生活動を対象に、歴史的建築物を活用したまちづくりの方向性について調査研究を進める。また、東京都文京区、台東区でのまちづくり活動についての地域社会学的研究を進め、ネットワーク形成の動態を明らかにしていきたい。</p>	